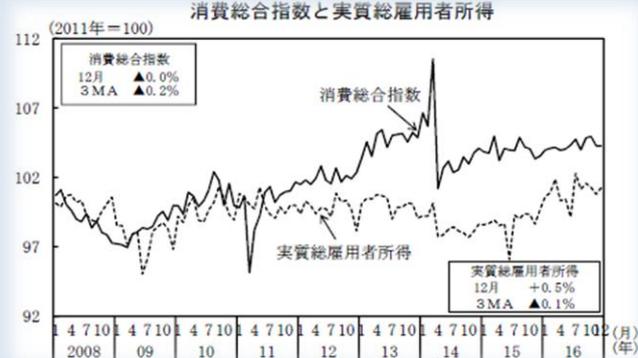
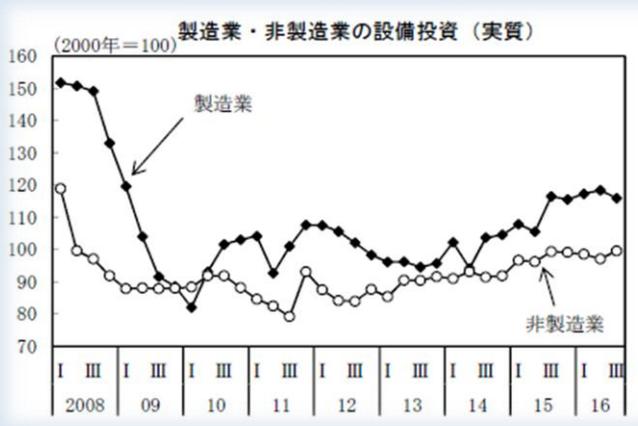
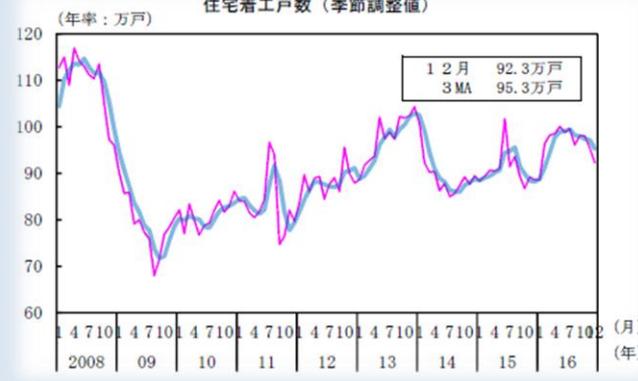
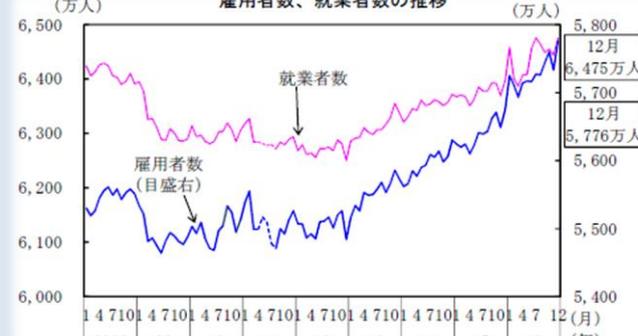


今月の経済動向（平成29年2月）

● 月例経済報告

<p><b>基調判断</b></p>	<p>景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>持ち直しの動きが続いているものの、このところ足踏みがみられる。</p> 
<p><b>設備投資</b></p>	<p>持ち直しの動きに足踏みがみられる。</p> 
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>このところ弱含んでいる。</p> 
<p><b>雇用</b></p>	<p>改善している。</p> 

月例経済報告：内閣府

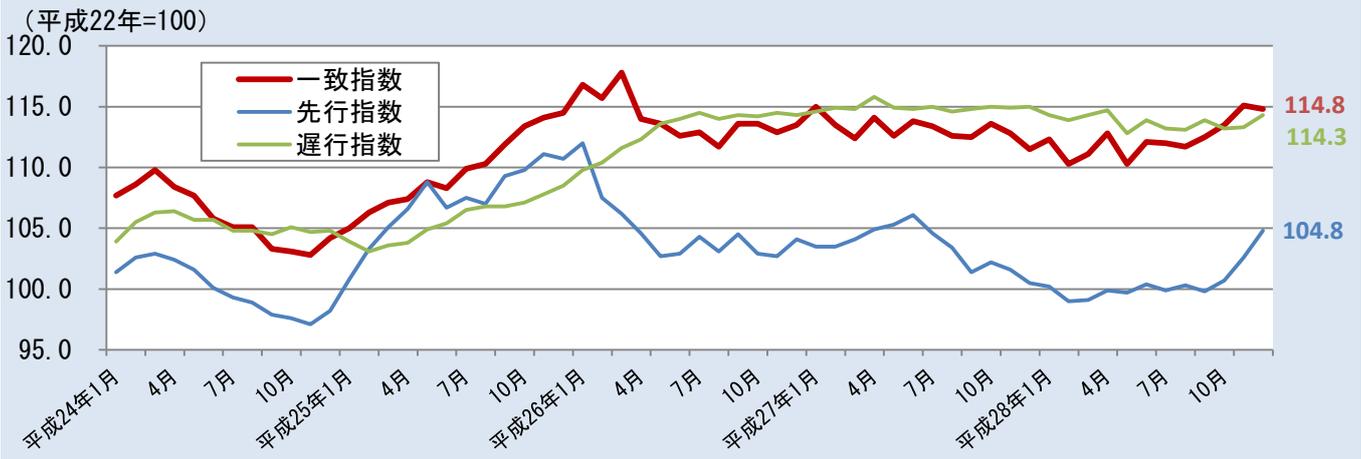
生産	持ち直している。	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2010年=100)</p> <p>在庫率 (目盛右) 予測調査 出荷 生産 在庫 (目盛右)</p>																								
輸出	持ち直している。	<p>輸出 (2010年=100)</p> <table border="1"> <tr><td>アメリカ</td><td>1月</td><td>▲0.6%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲0.7%</td></tr> <tr><td>全体</td><td>1月</td><td>▲0.3%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+0.9%</td></tr> <tr><td>EU</td><td>1月</td><td>▲2.1%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>▲1.4%</td></tr> <tr><td>アジア</td><td>1月</td><td>▲3.0%</td></tr> <tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.3%</td></tr> </table>	アメリカ	1月	▲0.6%		3MA	▲0.7%	全体	1月	▲0.3%		3MA	+0.9%	EU	1月	▲2.1%		3MA	▲1.4%	アジア	1月	▲3.0%		3MA	+1.3%
アメリカ	1月	▲0.6%																								
	3MA	▲0.7%																								
全体	1月	▲0.3%																								
	3MA	+0.9%																								
EU	1月	▲2.1%																								
	3MA	▲1.4%																								
アジア	1月	▲3.0%																								
	3MA	+1.3%																								
国内企業物価	緩やかに上昇している。	<p>企業物価の推移 (2015年=100)</p> <p>輸入物価(目盛右) 輸出物価(目盛右) 国内企業物価</p>																								
消費者物価	横ばいとなっている。	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p> <p>生鮮食品、石油製品及び その他特殊要因を除く総合 (連鎖基準) 生鮮食品を除く総合 総合</p>																								
海外経済	一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。																									

[月例経済報告：内閣府](#)

## ● 景気動向指数（平成28年12月）

平成28年12月のCI一致指数は前月より0.3ポイント低い114.8ポイントとなった。CI先行指数は前月より2.2ポイント高い104.8ポイント、遅行指数は前月より1.0ポイント高い114.3ポイントとなった。  
景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。

### ・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)